



北海道だから実感できる「農業6次化」の新しい可能性

農業生産法人 株式会社 谷口農場



公式ホームページ



体験
しましょう!

- 5月～9月トマトハウスで栽培のプロセス(散水・芽かき・収穫)を体験
- 9月上旬 田んぼにて稲刈り作業を実際に体験

農場 加工場 販売店で 6次化の実践事例を体験!

事業内容

「大地の健康を守り、作物の健康を養い、人々の健康を育む命の仕事に取り組みます」という理念を掲げる農業法人。土づくりへの徹底したこだわりを始め、特別栽培・有機栽培による農産物生産、自社食品工場での加工、さらに農場直売店の運営も手掛け、自社完結による6次産業化を実現。経営多角化の相乗効果を最大限に発揮することにより、多様な人材の確保を図り、農業法人としてさらなる発展を目指す。

視察内容

1 加工場

- ヘタを取る手作業から煮込み、遠心分離による不純物除去、充填、加熱殺菌まで工程を見学
- 年間製造数/缶=約294,000本
ビン=約38,000本
- トマトの有機栽培における土づくり、病害虫防止対策方について説明

2 トマトハウス ※3月下旬～10月上旬まで

- トマトの有機栽培における土づくり
- トマトハウス54棟 年間収穫量=約150t
- 病害虫の防止対策方法について

3 直売店『まっかなトマト』

- 農場で収穫した米、野菜から自社工場加工した食品まで販売。
- カフェが併設され(席数20)、「トマトカレー」など農場で収穫された素材を使うメニューがそろう
- 事業内容の説明、直売店の紹介など

4 田んぼ ※5月中旬～10月上旬

- 稲作作付面積=約3,880ha ※東京ドーム約8個分の面積
- 水稲の特別栽培
- 食味向上のための対策

5 ライスセンター

- 年間収穫量=約216t
- 精米工程の見学

先進事例

米・トマトなどを生産する「農業」、自社食品工場での「加工」、直売所とオンラインショップでの「販売」。自社で一貫して行う6次化経営の先駆事例として、2018年度の『アグリフードEXPO輝く経営大賞』を受賞。



地域・社会に貢献している事例

- ①旭山動物園、近郊の小学校と連携し、生徒が自ら種を蒔いたかぼちゃを秋に収穫、動物園に出向いて実際に動物に与える企画を毎年実施(「もぐもぐ応援隊」)。
- ②地元幼稚園・保育園、小学校、短大を対象に農業体験の機会を毎年提供(田植え、稲刈り、じゃがいも収穫)。
- ③毎年9月開催の「収穫祭」は2000人超の来場者でにぎわう。



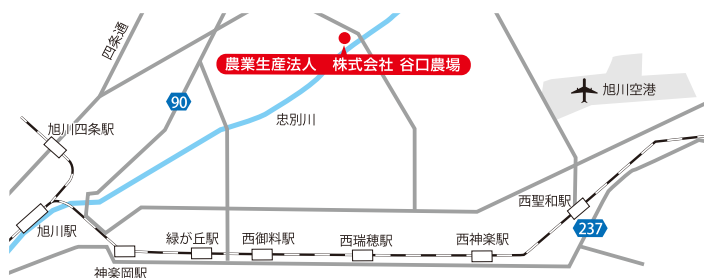
視察概要

- 受け入れ組数 / 1組
- 人数 / 1名～10名
- 所要時間 / 80～130分程度

※作業などで場内のエリア制限を設ける場合がございます。

データ

- 住所 / 〒078-8340
北海道旭川市東旭川町共栄255番地
- TEL / (0166) 34-6699
- FAX / (0166) 33-3048



旭川駅より車で約16分(約8km)
旭川空港より車で約13分(約10.5km)

MAPCODE® 79 202 318*68(カーナビ)

「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。
※カーナビ機能システムをご利用の場合、電話番号による検索結果と異なる場合がございますので、上記のマップコードをご入力ください。